
電子マニフェストの項目追加について

- 平成29年2月に中央環境審議会からの意見具申「廃棄物処理制度の見直しの方向性」においては、当意見具申の背景となった食品廃棄物の不正転売事案も踏まえ、**排出事業者責任の徹底、産業廃棄物の処理状況の透明性の向上等について指摘**を受けた。
- 平成29年2月の意見具申の背景となった食品廃棄物の不正転売事案は、本来適切に処理されるべき廃棄物が有効活用の名の下で食品として流通することを見逃すこととなった。今後、さらなる資源循環を進めていくに当たっては、本来適正に処理されるべき廃棄物を見逃すこととならないよう、これまでの事案を踏まえ、**適正処理の強化のため取組**を行う。
- なお、令和6年2月の中央環境審議会からの意見具申「炭素型資源循環システム構築に向けた具体的な施策のあり方について」においても、資源循環の促進の観点から、**電子マニフェストの活用、廃棄物の処理方法や再生材の供給量などの情報収集の重要性が指摘**された。

対応方針（案）

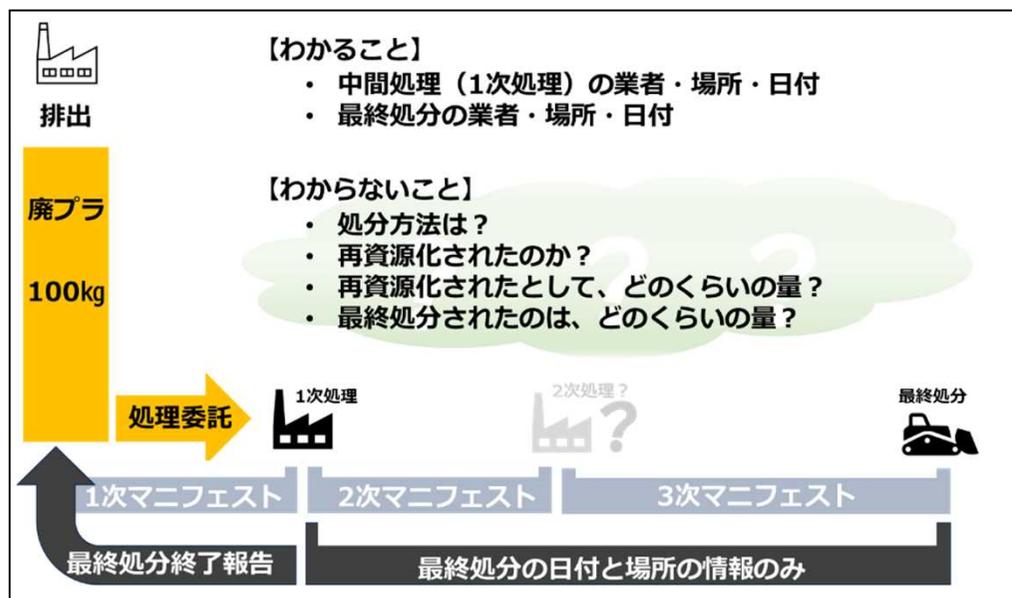
- ① 廃棄物の最終処分までの適正な処理や再資源化の状況について、排出事業者が把握できるよう取り組む必要があるため、情報処理センターと連携し、**再資源化を含めた最終処分までのフローが把握可能なよう電子マニフェストの入力項目について改善**を行う。
- ② 同時に、電子マニフェストの利便性向上のため、入力時の手間を軽減させるための改良も行う。

具体的な措置事項（案）

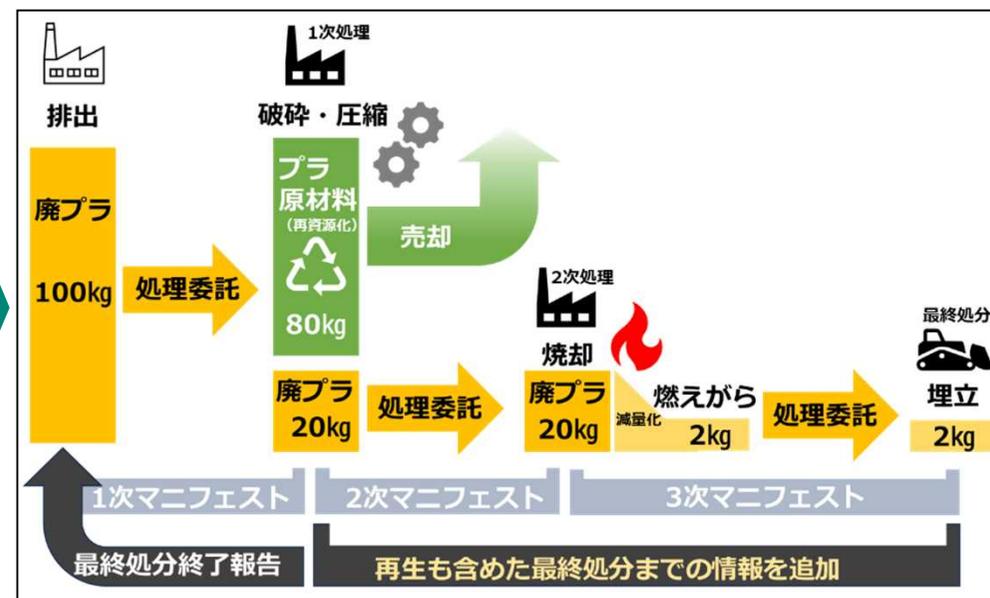
1. 項目の追加

- 「処分方法」「処分方法ごとの処分量」「再資源化物及び中間処理後産業廃棄物の種類及び量」「二次マニフェスト以降の処分業者にあってはその名称、処分場名称及び所在地」について、最終処分報告の際にあわせて報告する。（自社における処分と二次マニフェスト以降の各処理段階について入力）
- メリットとして、排出事業者にとって、最終処分までの処分フローが見える化され、安心感につながる。また、中間処理業者が直接再資源化していない場合でも、二次マニフェスト以降で再資源化されていれば、排出事業者がその寄与を確認することができる。

【現行】



【改正案】



2. 入力手間軽減※

- 最終処分報告の際に、毎回、二次マニフェスト以降の情報を入力することは、処分業者の手間が大幅に増える。

【対応】

処分先により処分フローはパターン化できることから、一度、そのパターンを登録すれば、以降はパターン選択のみで自動入力されるようシステム側で対応する。

- 通常、複数の排出事業者から排出された廃棄物を中間処理業者がまとめて中間処理し、最終処分されていることから、中間処理及び最終処分報告についても、複数の排出事業者毎に画面を切り替えつつ、廃棄物の受入量を入力する必要がある。

【対応】

一つの画面で続けて入力が可能となるよう改良する。

※ JWNETのWeb方式の場合

Web方式の対応について

1.電子マニフェスト情報の利活用にかかる背景

(1) ビッグデータの活用

- 2017年10月 中川環境大臣（当時）

「電子マニフェストは、産業廃棄物の適正処理や循環型社会の形成に重要な役割を果たしている。電子化率が待望の50%を超えたが、今後とも更なる普及とビッグデータとしての有効な活用に引き続き取り組んでいただきたい。」



(2) 参議院付帯決議

- 2024年5月 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案に対する付帯決議

「～（前略）～ 電子マニフェストに再資源化情報を付加し、静脈資源情報プラットフォームの構築などの取組を進めること。」

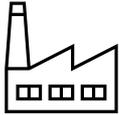
(https://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/213/f073_052101.pdf)

2.電子マニフェストの項目追加について

(1) 現状の電子マニフェスト

【わかること】

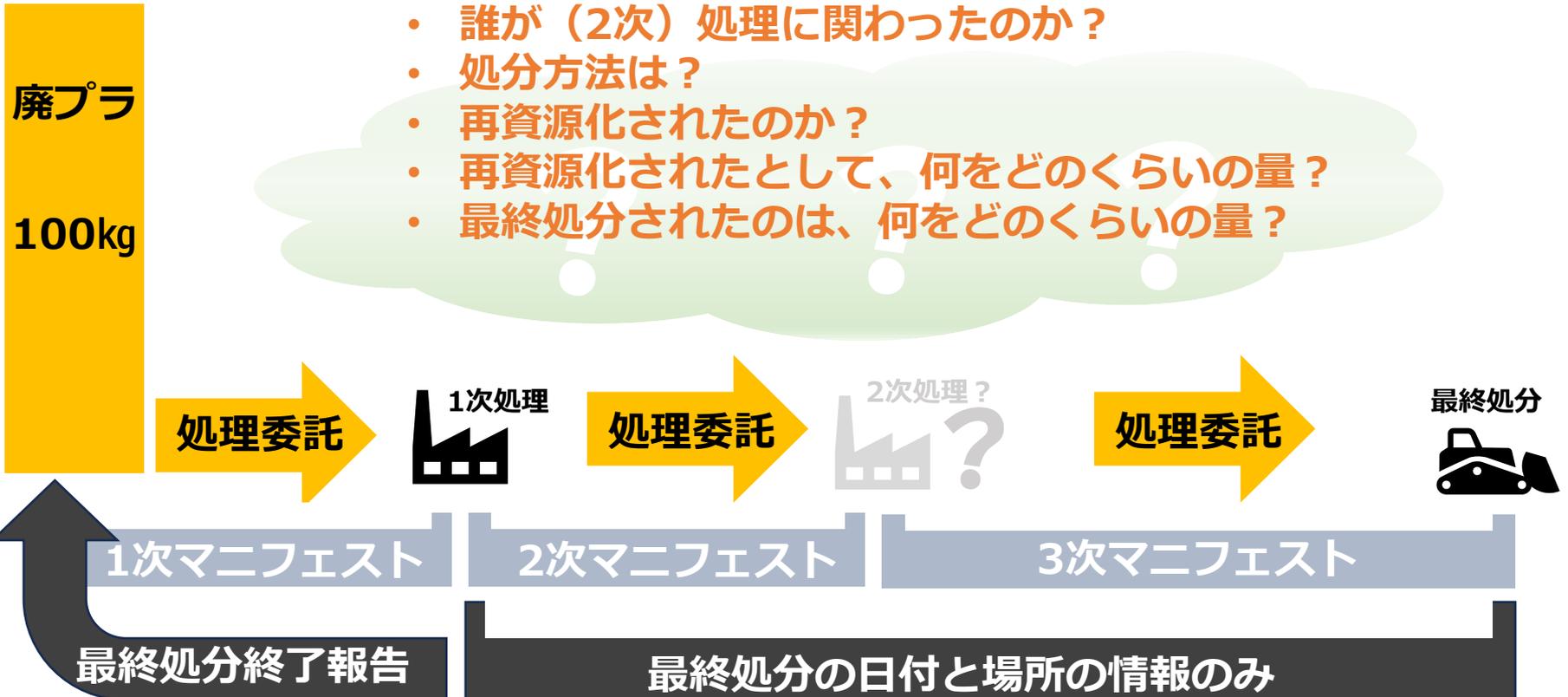
- ・ 中間処理（1次処理）の業者・場所・日付
- ・ 最終処分の業者・場所・日付



排出

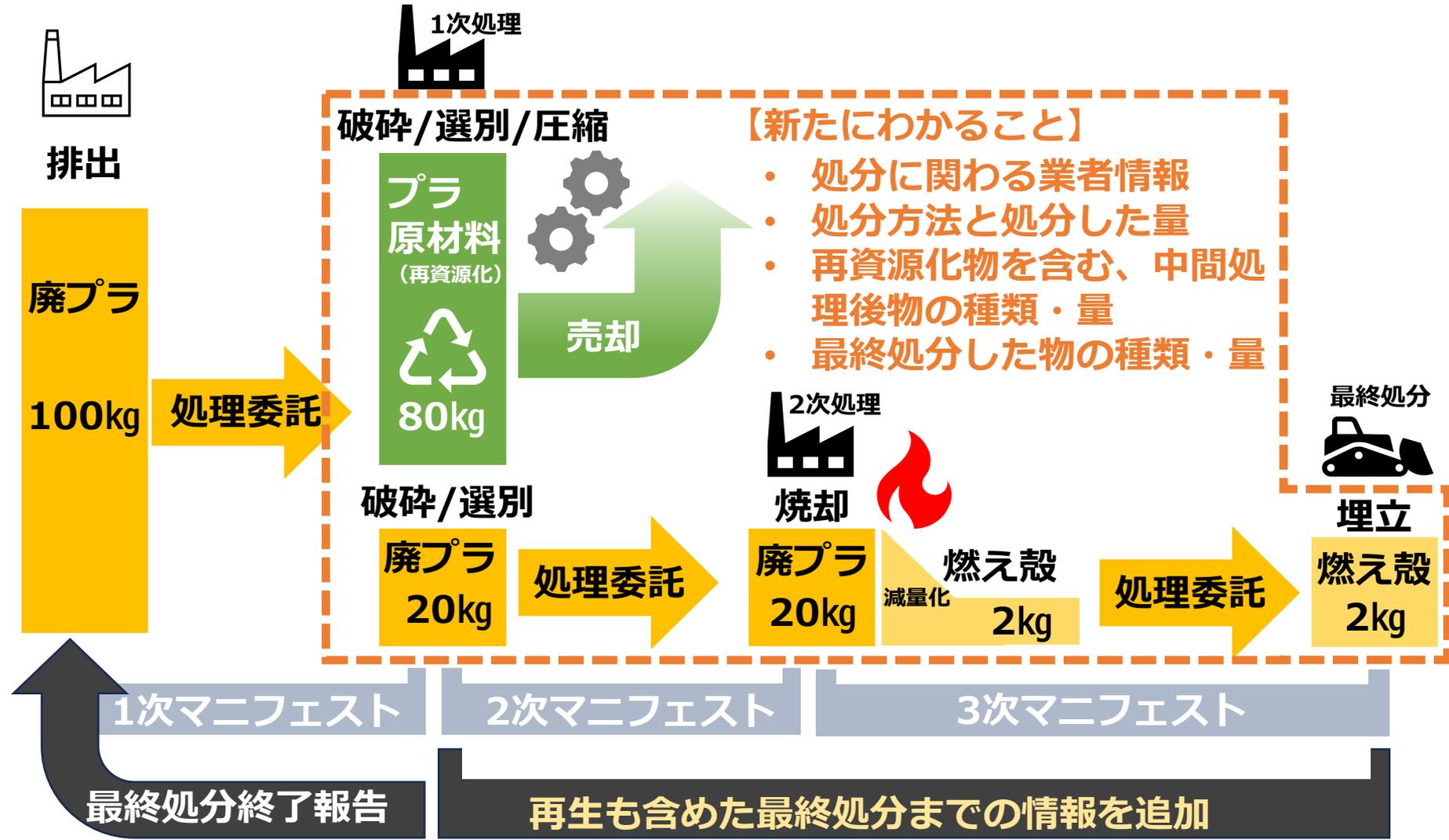
【わからないこと】

- ・ 誰が（2次）処理に関わったのか？
- ・ 処分方法は？
- ・ 再資源化されたのか？
- ・ 再資源化されたとして、何をどのくらいの量？
- ・ 最終処分されたのは、何をどのくらいの量？



(2) 項目追加後の電子マニフェスト

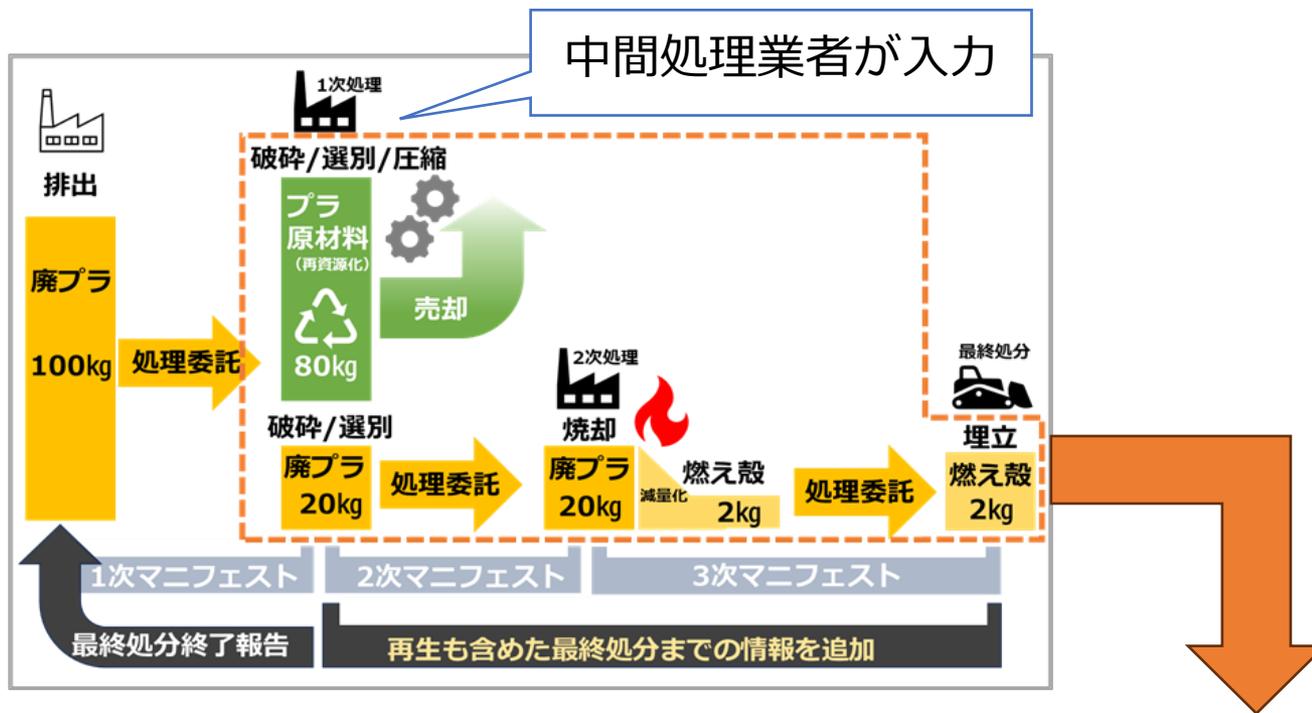
廃棄物の最終処分までの適正な処理や再資源化の状況について把握可能とする。



3.追加される項目について（Web方式の対応）

(1) だが、いつ入力するか

処分業者が最終処分終了報告の際に「自社における処分と2次マニフェスト以降の最終処分までの情報」を入力する。



No.	マニフェスト番号	排出事業場の名称	廃棄物の種類(大分類名称)	基準重量	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	処理後物の種類	処理後物の量
1	12345678910	*****	廃プラスチック類	100kg	1次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別/圧縮	80kg	プラスチック原材料	80kg
2					1次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別	20kg	廃プラスチック類	20kg
3					2次	*****	*****	*****	*****	廃プラスチック類	焼却	20kg	燃え殻	2kg
4					3次	*****	*****	*****	*****	燃え殻	管理型埋立	2kg	燃え殻	2kg

(2) 再資源化等の情報について

【再資源化等の情報】

適正処理を確保する機能を強化するために電子マニフェストに追加される「処分方法」や「再資源化された物」等の情報

【再資源化等の情報の主要項目】

- ① 基準重量
- ② 処分業者情報
- ③ 処分方法及び処分方法ごとの量
- ④ 処理後物の種類及び量



Web方式ではこれらの情報を
パターン化して簡便に入力できる
システムで対応することを想定
(パターンの設定についてはP15参照)

【Web方式の入力画面（イメージ）】

再資源化等の情報入力

基準重量入力		運搬業者入力		処分終了報告時に入力		基準重量	単位	①
排出事業者入力	運搬業者入力	処分終了報告時に入力	基準重量	単位				
廃棄物の数量	単位	運搬量	単位	受入量	単位	(100)	kg	
○	90 kg	○	0.3 m3	●	100 kg			

基準重量に表示されている数量は基準重量入力欄でチェックされている数量※が反映されます。
※単位が容量 (m3、リットル) または個・台の場合は「再資源化情報の表示単位・重量換算係数設定」で設定された換算係数を用いて重量で表示しています。

再資源化等の情報パターン選択

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号 (下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位	最終処分終了報告	最終処分終了日
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業 (自社名)	麹町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料	80	kg	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業 (自社名)	麹町処分場	東京都千代田区		破砕/選別			廃プラスチック類	廃プラスチック類	2		<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都千代田区	廃プラスチック類	洗却			燃え殻	燃え殻			<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県	燃え殻	管理型埋立			燃え殻	燃え殻			<input checked="" type="checkbox"/>	2024/08/29

② ③ ④

(3) 各項目の説明 ① 基準重量

受け入れた量をkgで表したもの ≡ 1次マニフェストの処分方法ごとの量の合計値

基準重量入力			処分終了報告時に入力			基準重量	単位
排出事業者入力		運搬業者入力		処分終了報告時に入力			
廃棄物の数量	単位	運搬量	単位	受入量	単位		
<input type="radio"/>	90 kg	<input type="radio"/>	0.3 m3	<input checked="" type="radio"/>	0.1 t	100	kg

①

基準重量に表示されている数量は基準重量入力欄でチェックされている数量※が反映されます。

※単位が容量 (m3、リットル) または個・台の場合は「再資源化情報の表示単位・重量換算係数設定」で設定された換算係数を適用して重量で表示しています。

- 再資源化等の情報にかかる数量は汎用性を考慮して単位は「kg」を使用する。
- Web方式では基準重量は処分終了報告時に入力した受入量等を反映できるが、受入量等の単位が容量 (m3、リットル) または個・台の場合は「重量換算係数設定」(以下図) で設定された換算係数を適用して重量に換算することを想定している。
- Web方式では基準重量は処分方法ごとの量、処理後物の量を算出する基準となる。

再資源化等情報の重量換算係数設定

この画面で設定した重量換算係数は、再資源化等の情報の基準重量※に反映されます。

- 例1) 換算係数1500の場合、1m3 = 1500kg
- 例2) 換算係数1.5の場合、1リットル = 1.5kg
- 例3) 換算係数0.5の場合、1個 = 0.5kg

※「基準重量」：再資源化率の算出の基礎となる廃棄物の数量を重量単位で把握するための数量

廃棄物	<input checked="" type="radio"/> 産業廃棄物、特別管理産業廃棄物 (特定有害産業廃棄物を含む)
	<input type="radio"/> 特定産業廃棄物 (放射性物質汚染対処特措法に定めるもの)
	<input checked="" type="radio"/> 放射性物質に汚染され、又はそのおそれがある産業廃棄物のうち、「放射性物質汚染対処特措法」で定められたもの。
	<input type="radio"/> 一般廃棄物

廃棄物の種類一覧									
分類コード	大分類名称	中分類名称	廃棄物の種類	m3 (kg換算係数)		リットル (kg換算係数)		個・台 (kg換算係数)	
				標準	ユーザー設定	標準	ユーザー設定	標準	ユーザー設定
0100	燃え殻			<input checked="" type="radio"/> 1140.000	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 1.140	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 228.000	<input type="text"/>
0110	燃え殻	焼却灰		<input checked="" type="radio"/> 1140.000	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 1.140	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 228.000	<input type="text"/>
0111	燃え殻	焼却灰	石膏質	<input checked="" type="radio"/> 1140.000	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 1.140	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 228.000	<input type="text"/>

(3) 各項目の説明 ② 処分業者情報

処分をした者の許可番号、名称、処分場名称および所在地の情報

再資源化等の情報一覧														
No.	削除	マニフェスト区分	許可番号 (下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1		1次	678901	▼産業 (自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮	80	k g	その他製品原料	プラスチック原材料	80	k g
2		1次	678901	▼産業 (自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別	20	k g	廃プラスチック類	廃プラスチック類	20	k g
3		2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	②	焼却	20	k g	燃え殻	燃え殻	2	k g
4		3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市		管理型埋立	2	k g	燃え殻	燃え殻	2	k g

- Web方式では中間処理後廃棄物の処理を委託する他社（後工程）の処分業者情報は、あらかじめ基本設定として「処分事業場設定」を行う。
（基本設定：入力に必要な情報の一覧（リスト）を事前に作成する設定）

処分事業場設定

この画面では、中間処理後廃棄物の処理を委託する他社（後工程）の処分業者情報（業者名、許可番号）と事業場情報（事業場名、所在地等）を設定します。

処分事業場情報

事業場コード

処分業者情報

許可番号 (下6桁)

処分業者名称

事業場情報

事業場区分 中間 最終 (再生含む)

事業場名称

郵便番号 - 郵便番号⇒住所 住所⇒郵便番号

都道府県 (選択なし) 市区町村 (選択なし) 町域 (選択なし)

詳細住所 電話番号

(3) 各項目の説明 ③-1 処分方法

各処分業者が行う処分方法を処分方法コードとテキスト（表示名）で表したもの

- 複数（4つまで）の処分方法コードを組み合わせることで実際の処分の工程を表現する。

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮 <input type="button" value="一覧"/>	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料 <input type="button" value="一覧"/>	80	kg
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別 <input type="button" value="一覧"/>		kg	廃プラスチック類	廃プラスチック類 <input type="button" value="一覧"/>	20	kg
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類	焼却 <input type="button" value="一覧"/>		kg	燃え殻	燃え殻 <input type="button" value="一覧"/>	2	kg
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻	管理型埋立 <input type="button" value="一覧"/>		kg	燃え殻	燃え殻 <input type="button" value="一覧"/>	2	kg

- 許可証に記載の処分方法に基づき、処分方法コードから該当する方法を選択するが、処分の工程が複数の処分方法からなる場合は、処分方法コードから4つ（3桁×4＝12桁）まで選択することができる。
- Web方式では処分方法はあらかじめ基本設定として「処分方法設定」を行う。

処分方法コードの分類区分（案）抜粋

大分類	中分類	小分類	分類コード
中間処理	脱水系	濃縮・脱水	111
		乾燥	112
		その他脱水系	119
	破砕系	破砕	121
		切断	122
		選別	123
		その他破砕系	129
	混合・減容系	混合・調質	131
		圧縮・減容	132
成形・固化		133	

処分方法設定

処分方法の設定

処分1	処分2	処分3	処分4
破砕 <input type="button" value="▼"/>	選別 <input type="button" value="▼"/>	(選択なし) <input type="button" value="▼"/>	(選択なし) <input type="button" value="▼"/>

主たる処分方法の指定

処分1 <input type="button" value="▼"/>

新規設定

処分方法一覧

No.	編集	削除	表示順	処分方法管理番号	処分1	処分2	処分3	処分4	表示名	主たる処分方法
1	<input type="button" value="✎"/>	<input type="button" value="🗑"/>	<input type="button" value="上へ"/> <input type="button" value="下へ"/>	001	破砕	選別	圧縮・減容		破砕/選別/圧縮	破砕
2	<input type="button" value="✎"/>	<input type="button" value="🗑"/>	<input type="button" value="上へ"/> <input type="button" value="下へ"/>	002	破砕	選別			破砕/選別	破砕
3	<input type="button" value="✎"/>	<input type="button" value="🗑"/>	<input type="button" value="上へ"/> <input type="button" value="下へ"/>	003	焼却				焼却	焼却

(3) 各項目の説明 ③-1 処分方法

【処分方法の具体例：廃プラスチック類を破碎してから選別する場合】

- 「破碎」（121）と「選別」（123）のコードを組み合わせて12桁のコードを作成

⇒ 1 2 1 1 2 3 0 0 0 0 0 0
 処分1 処分2 処分3 処分4

⇒ テキスト（表示名）は「破碎/選別」となるが、許可内容に合わせた修正も可能

処分方法コードの分類区分（案）抜粋

大分類	中分類	小分類	分類コード
中間処理	脱水系	濃縮・脱水	111
		乾燥	112
		その他脱水系	119
	破碎系	破碎	121
		切断	122
		選別	123
		その他破碎系	129
	混合・減容系	混合・調質	131
		圧縮・減容	132
		成形・固化	133

処分方法設定

処分方法の設定

処分1 破碎 処分2 選別 処分3 (選択なし) 処分4 (選択なし)

主たる処分方法の指定
 処分1

新規設定

処分方法一覧

No.	編集	削除	表示順	処分方法管理番号	処分1	処分2	処分3	処分4	表示名	主たる処分方法
1			上^ 下^	001	破碎	選別	圧縮・減容		破碎 / 選別 / 圧縮	破碎
2			上^ 下^	002	破碎	選別			破碎 / 選別	破碎
3			上^ 下^	003	焼却				焼却	焼却

【主たる処分方法】

- 複数の処分方法を組み合わせた場合、設定するコードのうち処分の工程を代表する処分方法を1つ指定する（上記であれば、破碎を設定する）。

(3) 各項目の説明 ③-2 処分方法ごとの量

処分の工程が2つ以上になる場合、それぞれ工程で処分される廃棄物の量

(例：廃プラスチック類の8割を破砕/選別/圧縮、残りの2割は破砕/選別だけする場合)

再資源化等の情報一覧														
No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮 <input type="button" value="一覧"/>	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料 <input type="button" value="一覧"/>	80	kg
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	超町処分場	東京都千代田区		破砕/選別 <input type="button" value="一覧"/>	20	kg		廃プラスチック類 <input type="button" value="一覧"/>	20	kg
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類	焼却 <input type="button" value="一覧"/>	20	kg		燃え殻 <input type="button" value="一覧"/>	2	kg
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻	管理型埋立 <input type="button" value="一覧"/>	2	kg		燃え殻 <input type="button" value="一覧"/>	2	kg

③-2

- 処分方法が同じでも処理後物の種類が異なる場合には、処分の工程のデータは2行となり、それぞれの工程で処分される廃棄物の量 (= 処分する量) を入力する。

(例：木くずを破砕して、半分は有価物の「木くずチップ」となり、残りの半分は
いまだ「木くず」となる場合)

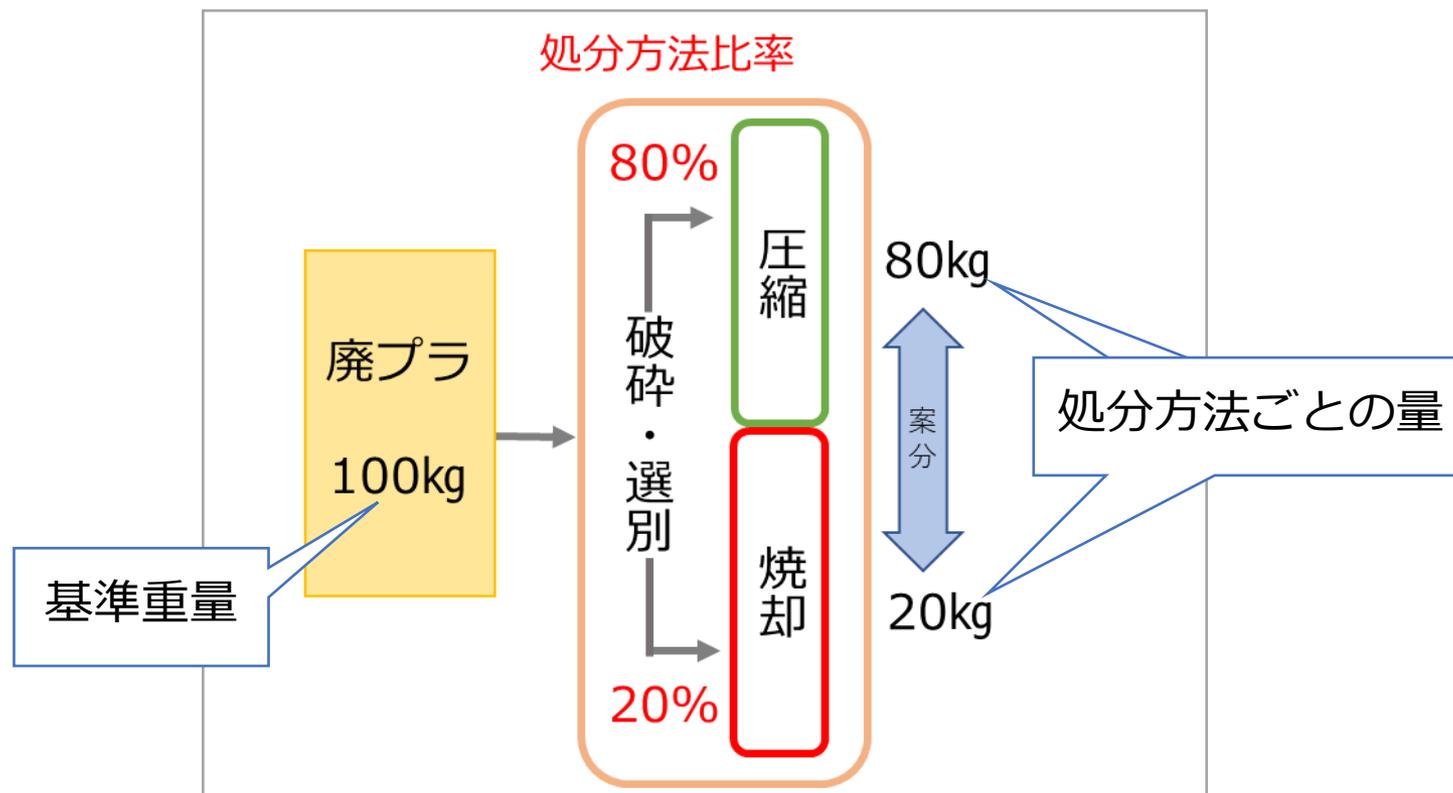
処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類
破砕 <input type="button" value="一覧"/>	50	kg	その他製品原料	木くずチップ <input type="button" value="一覧"/>
破砕 <input type="button" value="一覧"/>	50	kg	木くず	木くず <input type="button" value="一覧"/>

- 処分方法ごとの量は、原則として実測値を入力する。
- 実測できない場合には、廃棄物の組成・性状を考慮し、帳簿等の過去の実績から案分して求める。
- Web方式では廃棄物の組成・性状を考慮した「処分方法比率」を過去の実績等から設定し、基準重量に乗じて算出した数値を報告することを想定している。

(3) 各項目の説明 ③-2 処分方法ごとの量

【処分方法比率】 基準重量に乗じて処分方法ごとの量を算出するための係数

例) 廃プラスチック類を破碎/選別後に8割（80%）は圧縮して「プラスチック原料」に、残りの2割（20%）は焼却する、とした処分方法比率をパターン化してあらかじめ設定しておく。実際のマニフェストに当てはめ、基準重量に処分方法比率を乗じて処分方法ごとの量を算出する。



(3) 各項目の説明 ④-1 処理後物の種類

中間処理により生じる「再資源化物（有価物）」及び「中間処理後廃棄物（処理残さ）」の種類

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分量者名称	処分量事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分量方法	処分量方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業（自社名）	越町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮 <input type="checkbox"/>	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料 <input type="checkbox"/>	80	kg
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業（自社名）	越町処分場	東京都千代田区		破砕/選別 <input type="checkbox"/>	20	kg	廃プラスチック類	廃プラスチック類 <input type="checkbox"/>		kg
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分量次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類	焼却 <input type="checkbox"/>	20	kg	燃え殻	燃え殻 <input type="checkbox"/>		kg
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分量三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻	管理型埋立 <input type="checkbox"/>	2	kg	燃え殻	燃え殻 <input type="checkbox"/>		kg

④-1

- 再資源化物または廃棄物コードから該当する種類を選択する。
- Web方式ではあらかじめ基本設定として「処理後物の種類設定」を行う。

再資源化物コードの分類区分（案）抜粋

大分類	中分類	小分類	分類コード	
01 飼肥料又はその原材料	01 飼料	01 配合飼料	010101	
		02 混合飼料	010102	
		03 単体飼料	010103	
		02 飼料原材料		010200
	03 肥料	01 汚泥肥料	010301	
		02 堆肥	010302	
		03 液肥	010303	
		04 有機質肥料	010304	
		05 無機質肥料	010305	
	04 肥料原材料		010400	

処理後物の種類設定

1 / 1ページ ページを 25件 表示 (合計件数: 1 件)

処理後物の種類一覧 追加

No.	種類設定	削除	表示順	種別	大	中	小	細	大分類名称	処理後物の種類
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="上へ"/> <input type="button" value="下へ"/>	廃棄物	01	12	00	000	燃え殻	廃棄物の焼却灰

細分類の設定

種別

大中小分類コード 大分類名称

細分類コード 処理後物の種類

(3) 各項目の説明 ④-2 処理後物の量

中間処理により生じる「再資源化物（有価物）」及び「中間処理後廃棄物（処理残さ）」の量

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	越町処分場	東京都千代田区		破砕/選別/圧縮 <input type="checkbox"/>	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料 <input type="checkbox"/>	80	kg
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	越町処分場	東京都千代田区		破砕/選別 <input type="checkbox"/>	20	kg	廃プラスチック類	廃プラスチック類 <input type="checkbox"/>	20	kg
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類	焼却 <input type="checkbox"/>	20	kg	燃え殻	燃え殻 <input type="checkbox"/>	2	kg
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻	管理型埋立 <input type="checkbox"/>	2	kg	燃え殻	燃え殻 <input type="checkbox"/>	2	kg

④-2

- 処理後物の量も原則として実測値を入力する。
- 実測できない場合には、過去の実績から設定する係数を乗じて算出する。
- Web方式では帳簿等の過去の実績から算出した係数（処理後物比率）を基準重量に乘じることによって得られた数値を報告することを想定している。

例) 廃プラスチック類を80%はプラスチック原材料として再資源化、20%は再生できないため2次処理委託している場合

プラスチック原材料の処理後物比率 80%
 廃プラスチック類の処理後物比率 20%

基準重量が100kgである場合、プラスチック原材料の処理後物の量は100×0.8 = 80kg

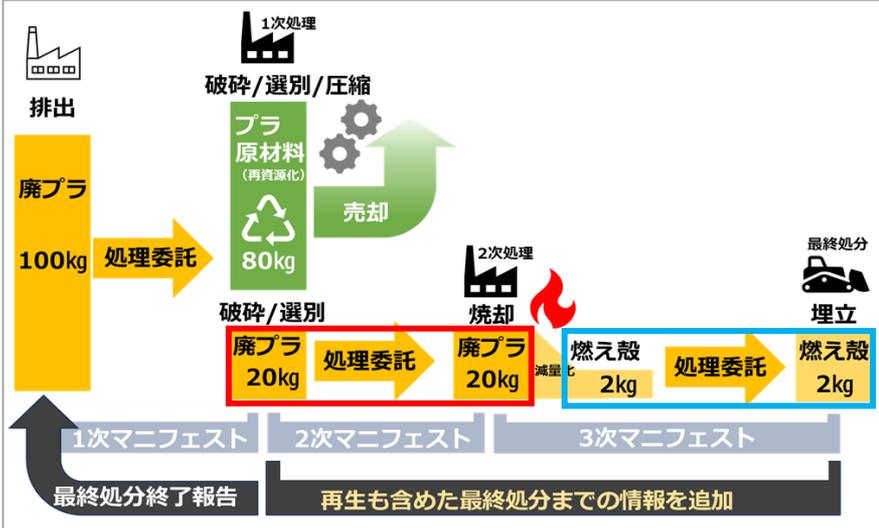
(3) 各項目の説明 ④-3 処理前廃棄物の種類

処理する前の廃棄物の種類 = 直前の処分工程の「処理後物の種類」

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	単位	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の量	単位
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	総町処分場	東京都千代田区		破碎/選別/圧縮	80	kg	その他製品原料	プラスチック原材料	80	kg
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	総町処分場	東京都千代田区			20	kg	廃プラスチック類	廃プラスチック類	20	kg
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類		20	kg	燃え殻	燃え殻	2	kg
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻		2	kg	燃え殻	燃え殻	2	kg

④-3

例) 1次マニフェストの「処理後物の種類：廃プラスチック類」が、2次マニフェストの「処理前廃棄物の種類」となる。
(右図赤枠)



No.	マニフェスト番号	排出事業場の名称	廃棄物の種類(大分類名称)	基準重量	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	処理後物の種類	処理後物の量
1	12345678910	*****	廃プラスチック類	100kg	1次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別/圧縮	80kg	プラスチック原材料	80kg
2					1次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別	20kg	廃プラスチック類	20kg
3					2次	*****	*****	*****	*****	廃プラスチック類	焼却	20kg	燃え殻	2kg
4					3次	*****	*****	*****	*****	燃え殻	管理型埋立	2kg	燃え殻	2kg

(4) 【ご紹介】 補足機能_再資源化等の情報パターン

再資源化等の情報入力

基準重量入力		排出事業者入力		運送業者入力		処分終了報告時に入力		基準重量	
廃棄物の数量	単位	運送量	単位	受入量	単位				
90	kg	0.3	m3	100	kg			100	kg

基準重量に表示されている数量は基準重量入力欄でチェックされている数量※が反映されます。
 ※単位が容量 (m3、リットル) または個・台の場合は「再資源化情報の表示単位・重量換算係数設定」で設定された換算係数を適用して重量で表示しています。

再資源化等の情報パターン選択

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号 (T6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法

- Web方式では同一の処理の工程、処理後物比率等を適用できる廃棄物について、あらかじめ「再資源化等の情報パターン」を作成し、これを適用して処理後物の量等を自動的に算出し、簡便に報告できるようにすることを想定している。
- 中間処理業者は、過年度の処理実績データ等を基に自社事業場における再資源化等の情報を把握するとともに、中間処理後廃棄物の処理委託先における同様の情報を収集し、両者を合わせて「再資源化等の情報パターン」を作成する。

再資源化等の情報パターン設定

再資源化等の情報パターンの種別
 報告種別 処分終了報告 最終処分終了報告

再資源化等の情報パターン
 再資源化等の情報パターン名称

受託廃棄物の種類
 大分類名称

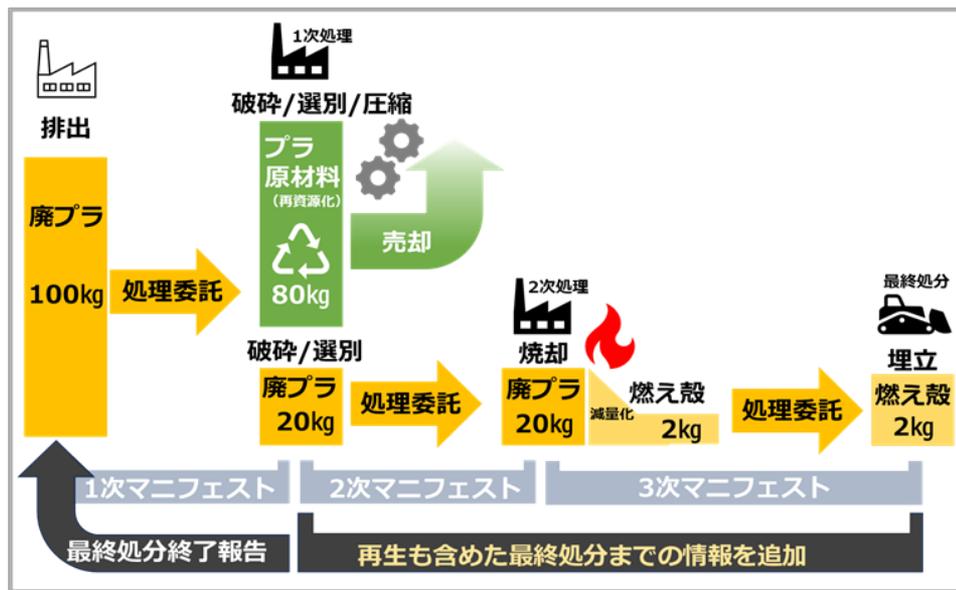
再資源化等の情報一覧

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号 (T6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの割合 (%)	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の種類ごとの割合 (%)	最終処分終了報告
1	<input type="button" value="削除"/>	1次	678901	▼産業 (自社名)	麴町処分場	東京都千代田区		選別/破碎 <input type="button" value="一覧"/>	60%	廃プラスチック類	廃プラスチック類 <input type="button" value="一覧"/>	60%	<input type="checkbox"/>
2	<input type="button" value="削除"/>	1次	678901	▼産業 (自社名)	麴町処分場	東京都千代田区		選別/破碎 <input type="button" value="一覧"/>	40%	廃プラスチック類	廃プラスチック類 <input type="button" value="一覧"/>	40%	<input type="checkbox"/>

(4) 【ご紹介】 補足機能_再資源化等の情報パターン

例) 廃プラスチック類の処理 (右図) をパターンを当てはめた例

「処分方法ごとの割合」と「処理後物の種類ごとの割合」には過去の実績等から算出した比率 (%) を設定する。



再資源化等の情報パターン設定

再資源化等の情報パターンの種類
 報告種別 処分終了報告 最終処分終了報告

再資源化等の情報パターン
 再資源化等の情報パターン名称

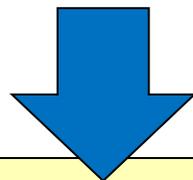
受託廃棄物の種類
 大分類名称

No.	削除	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処理前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの割合(%)	処理後物の大分類名称	処理後物の種類	処理後物の種類ごとの割合(%)	最終処分終了報告
1	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	臨町処分場	東京都千代田区		破碎/選別/圧縮	80%	その他製品原料	プラスチック原材料	80%	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	1次	678901	▼産業(自社名)	臨町処分場	東京都千代田区		破碎/選別	20%	廃プラスチック類	廃プラスチック類	20%	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	2次	987654	処分次郎	第B事業場	東京都品川区	廃プラスチック類	焼却	20%	燃え殻	燃え殻	2%	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	3次	000000	処分三郎	第C事業場	神奈川県横浜市	燃え殻	管理型埋立	2%	燃え殻	燃え殻	2%	<input checked="" type="checkbox"/>

EDI接続仕様の変更について

主要な変更について

従来の「処分終了報告」、「最終処分終了報告」の内容に、再資源化等の情報の項目が追加されます。



- 「処分終了報告」と「最終処分終了報告」の内容に再資源化等の情報を追加した機能番号、レイアウト番号を新設します。
- 既存の「処分終了報告」「最終処分終了報告」の機能番号、レイアウト番号は、項目追加の改善後、廃止させていただきますので、既存機能から新設機能への移行対応をお願いいたします。

廃止予定の機能番号と新設予定の機能番号

廃止予定の機能番号

以下、機能番号を使用している場合、新設の機能番号への移行が必要です。

- 1500:処分終了報告 ⇒ 移行先の機能番号: 1501
- 1600:処分終了報告の修正 ⇒ 移行先の機能番号: 1601
- 2000:最終処分終了報告 ⇒ 移行先の機能番号: 2001

新設予定の機能番号

- 1501:処分終了報告(再資源化等情報を含む)
- 1601:処分終了報告の修正(再資源化等情報を含む)
- 2001:最終処分終了報告(再資源化等情報を含む)
- 1700:再資源化等情報の修正
- 3102:再資源化等情報の照会(番号指定)
- 3202:再資源化等情報の照会(条件検索)

(補足)

1700:再資源化情報の修正では、排出事業者の承認は必要ありません。

廃止予定・新設予定の機能番号とレイアウト番号の構成

廃止予定の機能番号・レイアウト番号

		要求ファイル		結果ファイル	
機能番号	機能名	レイアウト番号	レイアウト名称	レイアウト番号	レイアウト名称
1500	処分終了報告	D10	処分終了報告情報	R10	処分終了報告情報
1600	処分終了報告の修正	D10	処分終了報告情報	R10	処分終了報告情報
2000	最終処分終了報告	D11	最終処分終了報告情報	R11	最終処分終了報告情報
		D12	2次マニフェスト情報	R12	2次マニフェスト情報
		D13	最終処分終了日・事業場情報	R13	最終処分終了日・事業場情報



新設予定の機能番号・レイアウト番号

		要求ファイル		結果ファイル	
機能番号	機能名	レイアウト番号	レイアウト名称	レイアウト番号	レイアウト名称
1501	処分終了報告(再資源化等情報を含む)	D60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)	R60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)
		D62	再資源化等情報	R62	再資源化等情報
1601	処分終了報告の修正(再資源化等情報を含む)	D60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)	R60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)
		D62	再資源化等情報	R62	再資源化等情報
2001	最終処分終了報告(再資源化等情報を含む)	D61	最終処分終了報告情報(再資源化等情報含む)	R61	最終処分終了報告情報(再資源化等情報含む)
		D62	再資源化等情報	R62	再資源化等情報

廃止予定・新設予定の機能番号とレイアウト番号の構成

廃止予定の機能番号・レイアウト番号

既存機能なし

新設予定の機能番号・レイアウト番号

機能番号	機能名	要求ファイル		結果ファイル	
		レイアウト番号	レイアウト名称	レイアウト番号	レイアウト名称
1700	再資源化等情報の修正	D60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)	R60	処分終了報告情報(再資源化等情報含む)
		D62	再資源化等情報	R62	再資源化等情報
3102	再資源化等情報の照会(番号指定)	D63	再資源化等情報の照会(番号指定)	R63	再資源化等情報の照会(番号指定)
		D25	マニフェスト情報照会(番号複数指定)	R25	マニフェスト情報照会(番号複数指定)
				R65	再資源化等情報(照会結果)
				R62	再資源化等情報
3202	再資源化等情報の照会(条件検索)	D64	再資源化等情報の照会(条件検索)	R64	再資源化等情報の照会(条件検索)
				R65	再資源化等情報(照会結果)
				R62	再資源化等情報

再資源化等の情報の項目

- **基準重量** ⇒資料2のスライド番号6参照
(1次マニフェストの処分方法ごとの処分量の合計値÷受入量をkgで表したものの)
- **マニフェスト区分** ⇒資料2のスライド番号5参照
(1次…2次…3次マニフェスト)
- **処分業者情報** ⇒資料2のスライド番号7参照
(許可番号、処分業者名称、処分事業場名称、処分事業場の所在地情報)
- **処分方法情報** ⇒資料2のスライド番号8参照
(処分方法表示名、処分方法コード1～4、主たる処分方法コード)
- **処理前廃棄物情報** ⇒資料2のスライド番号14参照
(処理前廃棄物名称、処理前廃棄物種類種別、処理前廃棄物大・中・小・細分類コード)
- **処分量** ⇒資料2のスライド番号10参照
(処分方法ごとの量)
- **処理後物情報** ⇒資料2のスライド番号12参照
(処理後物名称、処理後物種類種別、処理後物大・中・小・細分類コード、処理後物量)

※各項目の定義や設定内容については、「【資料2】Web方式の対応について」をご参考ください。

新設予定の要求ファイルレイアウトの項目内容(暫定)

**D60：処分終了報告情報
(再資源化等情報含む)**

ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	マニフェスト番号
4	簡易情報取得フラグ
5	処分終了日
6	廃棄物の受領日
7	受入量
8	受入量の単位コード
9	運搬担当者
10	車両番号
11	報告担当者
12	処分担当者
13	備考
14	報告区分
15	再資源化等情報件数
16	基準重量
17	基準重量単位コード
18	改行コード (CR/LF)

**D61：最終処分終了報告情報
(再資源化等情報含む)**

ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	マニフェスト番号
4	簡易情報取得フラグ
5	再資源化等情報件数
6	基準重量
7	基準重量単位コード
8	改行コード (CR/LF)

D62：再資源化等情報

ファイルレイアウト番号		ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称	項番	項目名称
1	レイアウト番号	34	処分量情報
2	機能番号	35	処分量
3	マニフェスト番号	36	処分量単位コード
4	マニフェスト区分	37	処理後物情報
5	処分業者情報	38	処理後物名称
6	許可番号	39	処理後物種類種別
7	処分業者名称	40	処理後物大分類コード
8	処分事業場名称	41	処理後物中分類コード
9	処分事業場の郵便番号	42	処理後物小分類コード
10	処分事業場所在地 1	43	処理後物細分類コード
11	処分事業場所在地 2	44	処理後物量
12	処分事業場所在地 3	45	処理後物量単位コード
13	処分事業場所在地 4	46	処理後物予備項目 1
14	処分事業場電話番号	47	処理後物予備項目 2
15	処分事業場予備項目 1	48	最終処分終了報告フラグ
16	処分事業場予備項目 2	49	最終処分終了日
17	処理前廃棄物情報	50	マニフェスト番号/交付番号
18	処理前廃棄物名称	51	再資源化情報備考
19	処理前廃棄物種類種別	52	改行コード (CR/LF)
20	処理前廃棄物大分類コード		
21	処理前廃棄物中分類コード		
22	処理前廃棄物小分類コード		
23	処理前廃棄物細分類コード		
24	処分方法情報		
25	処分方法表示名		
26	処分方法コード 1		
27	処分方法コード 2		
28	処分方法コード 3		
29	処分方法コード 4		
30	処分方法コード 5 (予備項目)		
31	主たる処分方法コード		
32	処分方法予備項目 1		
33	処分方法予備項目 2		

**D63：再資源化等情報の
照会 (番号指定)**

ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	条件区分
4	マニフェスト番号範囲
5	開始番号 (FROM)
6	終了番号 (TO)
7	マニフェスト情報照会 (番号複数指定) 件数
8	改行コード (CR/LF)

**D64：再資源化等情報の
照会 (条件検索)**

ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	抽出日区分
4	抽出日 (FROM)
5	抽出日 (TO)
6	改行コード (CR/LF)

※注意※

当レイアウト項目は、暫定のため変更の可能性がございます。

各項目の設定可否、バイト数等の詳細につきましては、後程ご説明いたします「今後の予定」に記載の「EDI方式接続仕様書(暫定版公開)」の際に、公開を予定しております。現段階でレイアウト項目の詳細をお問合せ頂きましても、誠に申し訳ございませんが、ご回答できかねますことご了承願います。 6

新設予定の結果ファイルレイアウトの項目内容(暫定)

R60：処分終了報告情報 (再資源化等情報含む)	
ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	マニフェスト番号
4	簡易情報取得フラグ
5	処分終了日
6	廃棄物の受領日
7	受入量
8	受入量の単位コード
9	運搬担当者
10	車両番号
11	報告担当者
12	処分担当者
13	備考
14	報告区分
15	再資源化等情報件数
16	基準重量
17	基準重量単位コード
18	結果情報
19	エラー件数
20	改行コード(CR/LF)

R61：最終処分終了報告情報 (再資源化等情報含む)	
ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	マニフェスト番号
4	簡易情報取得フラグ
5	再資源化等情報件数
6	基準重量
7	基準重量単位コード
8	結果情報
9	エラー件数
10	改行コード(CR/LF)

R62：再資源化等情報			
ファイルレイアウト番号		ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称	項番	項目名称
1	レイアウト番号	34	処分量情報
2	機能番号	35	処分量
3	マニフェスト番号	36	処分量単位コード
4	マニフェスト区分	37	処理後物情報
5	処分業者情報	38	処理後物名称
6	許可番号	39	処理後物種類種別
7	処分業者名称	40	処理後物大分類コード
8	処分事業場名称	41	処理後物中分類コード
9	処分事業場の郵便番号	42	処理後物小分類コード
10	処分事業場所在地 1	43	処理後物細分類コード
11	処分事業場所在地 2	44	処理後物量
12	処分事業場所在地 3	45	処理後物量単位コード
13	処分事業場所在地 4	46	処理後物予備項目 1
14	処分事業場電話番号	47	処理後物予備項目 2
15	処分事業場予備項目 1	48	最終処分終了報告フラグ
16	処分事業場予備項目 2	49	最終処分終了日
17	処理前廃棄物情報	50	マニフェスト番号/交付番号
18	処理前廃棄物名称	51	再資源化情報備考
19	処理前廃棄物種類種別	52	結果情報
20	処理前廃棄物大分類コード	53	エラー件数
21	処理前廃棄物中分類コード	54	改行コード(CR/LF)
22	処理前廃棄物小分類コード		
23	処理前廃棄物細分類コード		
24	処分方法情報		
25	処分方法表示名		
26	処分方法コード1		
27	処分方法コード2		
28	処分方法コード3		
29	処分方法コード4		
30	処分方法コード5(予備項目)		
31	主たる処分方法コード		
32	処分方法予備項目 1		
33	処分方法予備項目 2		

R63：再資源化等情報の 照会(番号指定)	
ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	条件区分
4	マニフェスト番号範囲
5	開始番号(FROM)
6	終了番号(TO)
7	マニフェスト情報照会(番号複数指定)件数
8	結果情報
9	エラー件数
10	改行コード(CR/LF)

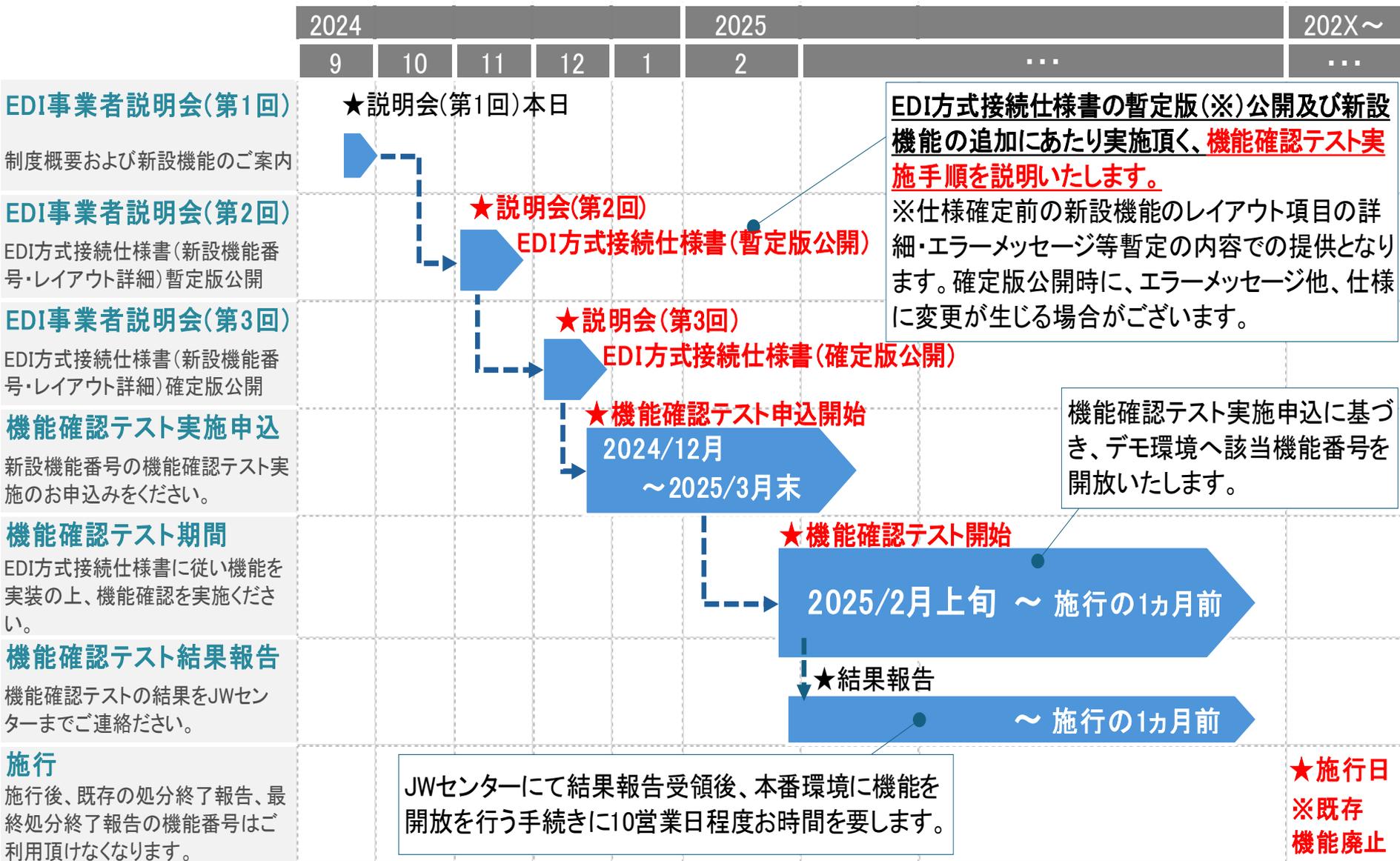
R64：再資源化等情報の 照会(条件検索)	
ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	抽出日区分
4	抽出日(FROM)
5	抽出日(TO)
6	結果情報
7	エラー件数
8	改行コード(CR/LF)

R65：再資源化等情報(照 会結果)	
ファイルレイアウト番号	
項番	項目名称
1	レイアウト番号
2	機能番号
3	マニフェスト番号
4	再資源化等情報件数
5	基準重量
5	基準重量単位コード
6	結果情報
7	エラー件数
8	改行コード(CR/LF)

※注意※

当レイアウト項目は、暫定のため変更の可能性がございます。
各項目の設定可否、バイト数等の詳細につきましては、後程ご説明いたします「今後の予定」に記載の「EDI方式接続仕様書(暫定版公開)」の際に、公開を予定しております。現段階でレイアウト項目の詳細をお問合せ頂きましても、誠に申し訳ございませんが、ご回答できかねますことご了承願います。7

～今後の予定～



EDI接続仕様書の変更について



＜現行版＞EDI方式接続仕様書掲載 ホームページURL

<https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/edi/system.html> のページに以下のPDFを掲載しています。

EDI方式接続仕様書Ver.1.52[PDF(3,649KB)](2024年3月29日改訂) PDFファイルURL

https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/assets/files/edi_method_all_ver1_52.pdf

EDI接続仕様書の変更箇所について

 の仕様を一部変更します。(その他の項目にも変更が生じる場合があります。)

目次

1. EDI方式の概要
 - 1-1. 電子マニフェストシステムの構成
 - 1-2. EDI方式各機能(システム含む)の特徴(概要)
 - 1-3. 標準EDI機能の特徴
 - 1-4. 電子契約(保管・検索・閲覧)機能の特徴
 - 1-5. Web-EDI機能の特徴
2. 機能仕様 **資料3 スライド番号 2~4 参照**
 - 2-1. 機能一覧
 - 2-2. 機能概要
 - 2-3. マニフェスト情報の修正・取消ルール詳細
 - 2-4. 電子マニフェストの運用
【EDI方式(電子契約を除く)】
3. 通信仕様
 - 3-1. 通信フロー概要
 - 3-2. 運用仕様
 - 3-3. 通信仕様
4. ファイル仕様
 - 4-1. 機能とファイルレイアウトの対応
 - 4-2. ファイル構成
 - 4-3. ファイル編集仕様
 - 4-4. 要求ファイルに指定可能な処理件数及び結果ファイルの提供可能な照会結果件数
5. ファイルレイアウト仕様
 - 5-1. ファイルレイアウト一覧 **資料3 スライド番号 3~4 参照**
 - 5-2. 要求ファイルレイアウトの項目説明
 - 5-3. 要求ファイルレイアウト **資料3 スライド番号 6 参照**
 - 5-4. 結果ファイルレイアウトの項目説明
 - 5-5. 結果ファイルレイアウト
 - 5-6. XML様式レイアウト **資料3 スライド番号 7 参照**
6. エラーチェック仕様
 - 6-1. リターンコード・エラーコード仕様
 - 6-2. エラーコード一覧 **⇒コード追加予定**
 - 6-3. 情報処理センター側EDIサーバーエラーチェック順
7. その他仕様
 - 7-1. JWNETマニフェスト番号採番仕様
 - 7-2. 情報処理センターのEDI機能
 - 7-3. EDI処理状況の確認
 - 7-4. 通知情報
 - 7-5. コード表 **⇒処理前廃棄物、処分方法、処理後物 各コード追加予定**
 - 7-6. EDI事業者・加入者について
 - 7-7. JWNET-EDI方式 EDIシステム運用開始までの流れ
 - 7-8. 照会可能件数制限
 - 7-9. 放射性物質情報の仕様
 - 7-10. 行政報告不要機能の仕様
 - 7-11. 電子契約(保管・検索・閲覧)機能の仕様
 - 7-12. 電子マニフェスト照会機能の取り扱い
 - 7-13. 排出事業場所在地チェックの仕様
⇒7-14. 再資源化情報処分事業場所在地チェックの仕様 追加予定
8. よくあるお問い合わせ
9. 付録
 - 9-1. 用語解説

当件のお問合せについて

■ 制度全般※に関するお問合せ先は

(※再資源化情報、処分量の把握の仕方等)
JWNETサポートセンター(お問合せフォーム)

<https://www.jwnet.or.jp/contact/jwnet/index.html>

■ EDI方式接続仕様に関するお問合せ先は

EDIサポート: edi-support@jwnet.or.jp

お問合せ(照会票掲載ページ):

https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/edi/add_recycling_info.html

当件に関する新設の
ページとなります

なりすまし等セキュリティ対策のため、EDI関連のお問い合わせは、
原則、運用管理責任者より照会票を用いてご連絡ください。

直接のご連絡が難しい場合は、CCに運用管理責任者のメールアドレスを含めて
ご連絡ください。なお、電話でのお問い合わせはお受けしておりません。

※ 当件に関するお問合せは都度のご回答ではなく、
JWセンターHPへ定期的に掲載し、更新を周知させていただきます。

その他

JWNETの機器更新(予定)について

JWNETの機器更新(予定)について

**2027年1月に
JWNETのサーバー・通信機器類の
更新を予定しております。
(前回は2021年に実施)**

詳細は、確定次第ご連絡いたします。